

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果

1. 国語の調査結果の概要

正答率の高い項目

問題の概要	問題形式	正答率
2二 山田さんが手ぬぐいの模様について言葉と図で説明した理由として適切なものを選択する。	選択式	92.3%
3一 【資料1】を読んで思い出した【木村さんの経験】を通して、木村さんが気付いたこととして適切なものを選択する。	選択式	87.2%
2四ア【ちらし】の下線部アを、漢字を使って書き直す（このみ）	短答式	82.1%

正答率の低い項目

1一 【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものとして適切なものを選択する。	選択式	48.7%
3三(1) 【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄Aにあてはまる内容として適切なものを選択する。	選択式	48.7%
1二 【話し合いの様子】の書き表し方を説明したものとして適切なものを選択する。	選択式	51.3%
2一 【ちらし】の文章の構成の工夫を説明したものとして適切なものを選択する。	選択式	51.3%

(1) 分析

正答率の高い項目と、正答率の低い3つの項目について分析を行った。

＜正答率が高い＞結果から、以下の内容が多くの児童へ身に付いていることが分かった。

- ① 図表などを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
- ② 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができる。
- ③ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。

以上の理由は、普段から朝学習で、資料の読み取りを行っていることで、資料を比較し違いを見つける力が付いたと考えられる。

＜正答率が低い＞結果から、多くの児童が以下の内容について苦手意識をもつことが分かった。

- ① 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができる。
- ② 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。
- ③ 内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。

以上の理由は、読み取った内容を分かりやすくまとめたり、文章の構成を考えたりする力が足りず、内容を深く読み、その上で自分の中で情報を整理することが苦手だと考えられる。

(2) 対策

◎資料を正確に読み取る力を身につける。

朝学習で取り組んでいる、新聞記事の読み取り学習「YOMU 読むワークシート」を活用して、内容の読み取りを深める。

新聞記事の内容を詳しく読み取り、どのような内容が書かれていたのかを確認する。本文のキーワードを見つけるなど、大体的内容を読み取ることができるようにする。

◎文章の構成について考える

授業で扱う題材を段落ごとのまとまりとして考え、各段落の役割について考える。常に段落番号をふらせ、全体の中で、各段落が本文にどのような影響を与えているのかを考える習慣を付けられるようにする。また、学期に1回行っている、作文トレーニング「書くチャレ」でも、文章構成を意識させたい。自分で考えて文章を作成する際に、段落を意識して書くように指導することで、段落の役割について考えられるようにする。